

### 【BCP の好事例紹介】

業種：障害福祉サービス事業

BCP で対象としたリスク：感染症・自然災害

株式会社あさひサポート

石毛典子・遠山章乃 氏

WAM・NET

障害福祉サービス等情報検索システム URL

[https://www.wam.go.jp/sfkohyoout/COP020100E00.do?\\_FORMID=COP000101&corporationNumber=E1200000000119&facilityNumber=1211400419&bunjoNumber=000000&serviceType=46&serviceSubNumber=E0000071250](https://www.wam.go.jp/sfkohyoout/COP020100E00.do?_FORMID=COP000101&corporationNumber=E1200000000119&facilityNumber=1211400419&bunjoNumber=000000&serviceType=46&serviceSubNumber=E0000071250)



#### ■策定した BCP のポイント

- ・感染症のまん延、事業所周辺で想定される地震等の自然災害によってどのような影響を受けるのかを調べた。重要な業務を中断させない、また、中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した業務継続に必要な計画の作成を行った。
- ・業務継続計画（BCP）の作成によって、平時からの準備・検討しておくべきことの理解と資源の確保や職員のとるべき行動の共有が、職員 1 人 1 人の意識の向上に繋がるという大きな成果を得た。

Q. 会社の概要を教えてください。

当社は千葉県旭市で、障害福祉サービス「就労継続支援 B 型事業所」を運営しています。

Q. 策定した BCP の概要を教えてください。

自然災害においては、国土交通省の「重ねるハザードマップ」で拠点周辺のハザードを確認し、業務の継続に一番影響する通信の使用可否を検討しました。また、サービス提供するにあたり必要不可欠な電気、水道等についても検討し、「使用不可」と考えられる要素については代替策を講じました。その他、災害時の職員個人の取るべき行動を基準として取りまとめることも行いました。

Q. BCP 策定過程で苦労したことは何ですか？

BCP 策定は大変でした。ただ単に大変だったわけではなく、BCP の作成に取り組むことの意義・必要性を実感しました。感染症や自然災害の発生に備えて優先するべき行動、用意しておくべき備品等を確認することができたのは良かったです。策定前から、自然災害についての防災計画や訓練実施・感染症に関する行動指針等の書類や備品他、何を優先すべきかな

ど職員間での不文律や、会議や研修・セミナー等による知識の周知もありましたが、明文化されていない状態でした。改めてそれらをまとめ、はっきりと文書で書き示す作業を個別コンサルティングでひとつずつ教えて頂き助かりました。

Q. 現状、計画に基づき具体的に行っていることは何ですか？

感染症や自然災害に対する会議や研修等を行っています（外部研修参加及び事業所内研修実施）。防災計画に基づいた自主避難訓練も定期的に行っています。また、今回のBCP作成を通じて、事前に発生を想定し対応を検討することで利用者（避難行動要支援者である）と職員の生命を守り、利用者の支援を速やかに行い業務継続に取り組んでいこうと考えています。

そのほか、今回作成したBCPの前提として考えている感染症及び自然災害よりも甚大な被害をもたらす最悪の事態が発生した場合に備え、様々なリスクを予見し、予防するための対策や処理対策（今何をしておくべきか、どう行動したらよいか）など効果的・効率的に講じることが出来るよう、今後、見直しすることも必要かと考えています。

Q. 日常業務でBCPを策定した効果はありますか？

職員が興味を持ち、意識向上することができたことは大きな効果と考えています。会議や日常業務の中でBCPに関連した事項の意見・質問が上がってくる事が増えました。対応の必要性の理解、対応に係る理解を職員間で共有できたことは、感染症や自然災害が発生した場合において、迅速に行動できるように事業所内での役割分担などサービス提供を行う上での支援の向上に繋がると思っています。

Q. BCPを今後会社の企業経営にどう生かしたいですか？

障害福祉サービスは、利用者、家族等の生活を支える上で欠かせないものです。感染症や自然災害がおきた場合の対策を想定し知識を十分に学習しておく必要があり重要だと思います。私たち障害福祉サービス事業者においては様々な制限下であっても適切な対応を行い、その後も利用者に必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築することが必要です。その為には、平時から準備・検討しておくべきことや発生時の対応をまとめたBCPの作成は重要でした。資源の確保、初動対応など、BCP作成だけでなく研修や訓練を行い適切な対応をとり、必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築していきたいと考えています。

BCP の抜粋（参考資料）

## 新型コロナウイルス感染症発生時における業務計画（障害福祉サービス類型：通所系）

### 第Ⅰ章 総則

#### 1 目的

本計画は、新型コロナウイルス感染症の感染者（感染疑いを含む）が事業所内で発生した場合においても、サービス提供を継続するために当事業所の実施すべき事項を定めるとともに、平時から円滑に実行できるよう準備すべき事項を定める。

#### 2 基本方針

① 利用者の安全確保	利用者の重症化リスクが高く、集団感染が発生した場合、深刻な被害が生じるおそれがあることに留意して感染拡大防止に努める。
② サービスの継続	利用者の健康・身体・生命を守る機能を維持する。
③ 職員の安全確保	職員の生命や生活を維持しつつ、感染拡大防止に努める。

#### 3 主管部門

本計画の主管は、管理者およびサービス管理責任者とする。

### 第Ⅱ章 平時からの備え

#### 1 対応主体

管理者およびサービス管理責任者の統括のもと、職員が一丸となって対応する。

## 自然災害発生時における業務継続計画

### 1. 総論

#### (1) 基本方針

- ①利用者の安全確保：通所者は重症化リスクが高く、災害発生時に深刻な被害が生じるおそれがあることに留意して安全の確保に努める。
- ②サービスの継続：利用者の生命、身体の安全、健康を守るために最低限必要となる機能を維持する。
- ③職員の安全確保：職員の生命を守り、生活の維持に努める。

#### (2) 推進体制

【自然災害対応\_様式1\_推進体制の構成メンバー】とする。

#### (3) リスクの把握

##### ① ハザードマップなどの確認

